

平成28年度第12回理事会議事概要

日 時 : 平成29年3月10日(金) 15:25～16:20

場 所 : 森林総合研究所特別会議室

出席者 : 理事長 沢田 治雄

理事(企画・総務・森林保険担当) 桂川 裕樹

理事(研究担当) 田中 浩

理事(育種事業・森林バイオ担当) 渡邊 聡

理事(森林業務担当) 奥田 辰幸

理事(法令遵守担当) 三木 眞

監事 鈴木 直子

監事 平川 泰彦

総括審議役 上野 司郎

総括審議役 大貫 肇

総括審議役 國井 聡

審議役 河野 晃

企画部長 高橋 正通

総務部長 松本 寛喜

(説明員) 森林整備センター上席参事 河野 裕之

1. 開会

2. 議事

(上野総括審議役)

ただいまより、平成28年度第12回理事会を開催いたします。本日は議題2件、報告事項が5件となっております。順次説明をお願いいたします。

まず、議題のⅠ－1につきましてよろしくお願いいたします。

Ⅰ－1. 平成29年度計画の届出について

(高橋企画部長)

年度計画につきましては、認可を受けた中長期計画に基づきこれを定め、事業開始前までに、農林水産大臣に届け出ることとされております。平成29年度の計画案につきましては、別添資料のとおりです。本日の理事会でご承認をいただきましたら、3月6日付けで変更の認可申請を行っております中長期計画の農林水産大臣認可がなされた後に、平成29年度計画について所内の決裁を経て農林水産大臣に届け出ることといたしたいと考えております。

中長期計画の主な変更内容は、法律改正と中長期目標の変更を踏まえ、国立研究開発法人森林総合研究所の国立研究開発法人森林研究・整備機構への名称変更、建制順を法律に合わせて研究開発、水源林造成業務、森林保険業務とし、特定中山間保全整備事業を最後に配した順番で章立てをしていること等であります。

(以下、高橋企画部長、河野審議役、河野上席参事、大貫総括審議役より各業務別の計画事項について順次説明。)

(上野総括審議役)

本件につきましては、ただいまご説明した内容で届け出ということで理事会でご承認いただきましたので、農林水産大臣より中長期計画の認可がなされましたのち、同大臣に届出を行いたいと思います。

Ⅰ－2. 次期会計監査人の選出について

(桂川理事)

当法人は、独立行政法人通則法に基づき、会計監査人の監査を受けることが義務づけられており、理事長は、監事の同意を得た上で、会計監査人の候補者の名簿を農林水産大臣に提出し、その選任を求めるものとされています、即ち私どもで選んだ後でさらに農林水産大臣から選任を受けるという手続きが必要になります。これにつきましては農林水産省が定めたガイドラインにより進めていくことになります。

監査法人につきましては昨年度から総合評価によって選ぶということにしておりました、単に一番金額が安いものをお願いするということではなく、それなりに経験や知見

もあり充分能力を持っていると思われるところを選ぶという形としております。

全体の流れを申し上げますと、4月に会計監査人候補者の公募を行い、監査法人からの提案書が到着した後に、会計監査人候補者審査委員会を開催致します。同委員会で結論を得た後、役員への説明、理事長への報告・了承をいただきまして、会計監査人の候補者を選定、監事の同意後、主務大臣に選任請求という運びになります。主務大臣からの選任通知を受けて契約を行うのは半年ほど先のことになるわけですが、今からこのような段取りで進めていくことが必要です。このため、この理事会で公告案を提案して、ご審議のうえご了解をいただきたいと思います。と思っております。

会計監査人候補者審査委員会の構成ですけれども、委員長が企画・総務・森林保険担当理事、委員につきましては、森林総合研究所が総括審議役、審議役、総務部長、森林整備センターが総合調整担当の審議役と監査・リスク管理担当の審議役、森林保険センターが保険総務部長、それから森林総合研究所の監査室長、森林整備センターの監査・コンプライアンス室長、森林保険センターのリスク管理室長が入りまして、審査を行うという形になっております。

平成28年度の委員会におきましても、資料にありますような選考基準等に基づいて審査を行ったわけですが、特に問題もなかったということ、そしてまた、適切な監査法人が選ぶことができたというように考えておりまして、基本的に同様のやり方で今回も進めたいと考えております。なお、会計監査人そのものは、ルールからいえば複数年、例えば3年やっていただくとかそのように選ぶことも理論上は可能なんですけれども、大臣の選任は年度ごとと決まっております。仮に複数年の会計監査人を選んだとしても、毎年しかるべき理由を添えて大臣に選任の請求をするということが必要であるということ、また実際に監査法人に監査をしていただいてその結果を踏まえて来年もやっていただくべきかどうかという判断もあるわけですので、少なくとも今の時点で、複数年にまたがって選ぶべき特段の理由はなく、今年度同様に単年度での会計監査人を選びたいと考えているところです。

(鈴木監事)

委員会の構成で、森林整備センターの総合調整担当の審議役が入っているのはどういう役割なのですか。リスク管理とかコンプラ、監査室になっているのに森林整備センターだけ総合調整担当はどうしてですか。

(桂川理事)

監査・リスク管理担当の審議役もちろん入っており、総合調整担当は森林整備センター全体の総務的な部分の目配りをさせていただくという趣旨と理解しております。

(上野総括審議役)

本件につきましては、提案のように会計監査人の選出を進めていくということで、本理事会において決定いたしました。

Ⅱ－１．中長期目標変更の指示及び中長期計画の認可申請について (桂川理事)

中長期目標変更の指示及び中長期計画の認可申請について、資料３６ページになります。中長期目標の変更については、別添１のとおり平成２９年３月３日付けで農林水産大臣から指示がありましたので、ご報告いたします。

また前回開催の理事会におきまして、中長期計画変更については、次回理事会において報告するとしたところでございますが、別添２のとおり平成２９年３月６日付けで農林水産大臣あて認可申請したことをご報告いたします。

Ⅱ－２．平成２８年度第２回リスク管理委員会の概要について (上野総括審議役)

資料１５２ページをご覧ください。平成２８年度第２回リスク管理委員会の議事概要がございます。第１に委員の指名、２番目に平成２８年度リスク管理計画における取組経過、３番目に平成２８年度リスク管理計画の取組結果報告につきましてそれぞれ報告され、取組結果の報告につきましては、良い事例などについて各部門にわたる情報共有の要望が出されました。また、取組結果にかかる評価手法についてＰＤＣＡサイクルとして次の取組にいかしていくことが改めて確認され、報告は全て承認されました。

４番目は平成２９年度のリスク管理の進め方ですが、これにつきましてはＰＤＣＡのサイクルスケジュールについて、従前は５月に重点リスクを決め、その後に対応方針を各分野で決めて取り組んでいたという実態でしたが、２９年度以降はそのサイクルを前倒し致します。具体的には２月の委員会で重点リスク項目の方向性を決めていただきまして、それに基づいて５月に予定されます平成２９年度第１回リスク管理委員会において、重点リスク項目とリスク対応方針をあわせて決定するという事で、リスク対応方針の各部局での策定を年度当初からスタートさせるということです。平成２９年度のスケジュールは資料のとおりでございます。

５番目は平成２９年度の重点リスク項目の方向性につきまして審議していただきまして、この中で、財務の透明性あるいは財務そのものについてリスクとして掲げることについて議論がありました。この件につきましては各業務部門で検討し、必要な場合には再度第１回リスク管理委員会で提案して、それについても審議・決定するという事を織り込みながら重点リスクの方向性について承認されたという経緯です。

６番目はリスク管理規程の一部改正及び改組後のリスク管理体制につきまして機構への名称変更に伴って各リスク管理規程等を修正したことについて、ご審議いただき承認されということです。

７番目は委員長の方から、各共通リスク、業務別リスクについて、資料のとおりご指示をいただいたということです。

５．平成２８年度 森林保険審査第三者委員会審査概要 (大貫総括審議役)

平成28年度森林保険審査第三者委員会審査概要でございます、資料でございますように、国立研究開発法人森林総合研究所が行う水源林造成事業に係る森林保険契約に係る損害評価事務について、外部有識者により損害実地調査及び保険金の額が妥当であるかについて審査を行っていただきました。委員といたしまして、千葉科学大学大学院教授の野村一正先生、市役所通り法律事務所弁護士の竹内克己先生、日本森林業技術協会事業部森林保全グループ長の高橋純一先生に来ていただきまして審査を行っていただきました。

結果概要ですが、平成28年2月～平成29年1月までの水源林造成事業に対して支払のあった135件でございます。135件の内、支払数の多い干害、水害、雪害、この3つの中から保険金支払額が大きなものを3事例としてまず選びました。そのほか、委員会の場において、一覧表の中から委員の先生方から抽出していただいた3事例、この6事例についてご審査いただいたわけです。

その結果、平成28年度の水源林造成事業にかかる損害填補については、実地調査ならびに保険金の算定に関して特に指摘すべき問題点はなく、適正に処理されており妥当であったというような審査結果をいただいております。

(上野総括審議役)

本日の報告事項は以上でございます。

次回の平成29年度第1回理事会は4月14日（金）を開催予定といたします。

これで平成28年度第12回理事会を終了いたします。

3. 閉会